

平 成 2 7 年 第 3 回

当別町教育委員会臨時会議事
要約版

当別町教育委員会

第3回 当別町教育委員会定例会議事（要約版）

日 時 平成27年2月27日(金) 午前10時30分

場 所 役場3階中会議室

出席委員

委員長	白井 応隆
委員	武岡 和廣
委員	寺田 郷子
委員	本庄 幸賢

参 与

教育部長	野村 雅史
管理課長	山崎 一
総務係長	村上 賢二
社会教育課長	長谷川 敏
社会教育課参事	山田 敏行
社会教育課主幹（社会教育担当）	小出 真二

傍聴者 なし

議 事	日程第1 報告第1号
案件名	当別町図書館像検討委員会からの答申について
説 明	<p>平成26年4月22日付けで当別町図書館像検討委員会に諮問した当別町にふさわしい図書館像について答申がありましたので、委員会に報告するものであります。</p> <p>本日、加藤図書館像検討委員会委員長並びに岡田副委員長から答申が教育長にありました。答申は大きく二つに分かれており、「当別町にふさわしい図書館像の具体的な構想について」と、「図書室の図書館機能の充実と環境整備について」です。</p> <p>答申を策定するに当たり、道内・道外の先進地研修で委員の見識を高めた中で、昨年4月22日を第1回とする検討委員会を7回、小委員会を昨年の10月から4回開催し、答申が作成されております。</p> <p>当別町にふさわしい図書館像の具体的な構想は、次の5項目を柱として作成されています。</p> <p>1 子どもから高齢者を大切にする図書館。 子どもを大切にする図書館として成長期に合わせたサービスを充実させる内容となっている。特に小・中学校と図書館との連携が求められている。また、高齢者や障害者、外国人などへのサービスが必要とされている。</p> <p>2 暮らしの中にある図書館。 生活に役立つ情報や町の情報を収集し、発信できる機能が必要で、特に子育てや健康など身近な情報が求められている。</p> <p>3 だれでも気軽に訪れることができ、人と出会い、交流の場としての図書館。 滞在型図書館として、飲食が可能でゆったりと快適に過ごせるレイアウトが求められている。また、地域コミュニティーの活動拠点として多様なサークル活動を支援することも求められている。</p> <p>4 地域の歴史・文化を伝えて、支える図書館。 町の過去の資料を収集・保存することが必要で、今後も地域で出版された資料などを収集することが求められている。</p> <p>5 まちづくりに役立つ図書館。 あらゆる情報を整理し、住民や行政が求める情報を提供できるサービスが求められている。</p>

	<p>答申の最後には、早期に「基本計画」「基本設計・建築実施計画」につながり、図書館建設につながることを望みます。と結んでいます。</p> <p>図書室の図書館機能の充実と環境整備については、図書室の充実と日常的な環境整備に分けて答申がされています。</p> <p>1 図書室の充実について。</p> <p>教育委員会としてどのように図書室を運営するのか指針が必要で、その指針を推進する上で人員配置や予算確保が必要とされている。</p> <p>2 日常的な環境整備について。</p> <p>図書や施設などで実施すべき事項を整理されております。</p> <p>以上が、概要であります。</p> <p>この答申を受け教育委員会としても、今後の図書館設置及び図書室環境の改善に向け具体的な施策としてできるだけ反映させ、検討としていくこととなります。</p>
質 疑	なし
採 決	原案のとおり承認